



# ISHIKAWA PREFECTURAL UNIVERSITY NEWS

石川県立大学広報

25  
2018 WINTER

## 水槽学部

左から  
柴田 阿矢子さん  
横田 健一朗さん  
若井 亜季さん



### 水槽を通して学ぶ、楽しむ水槽学部！

石川県立大学の生き物が好き、魚が好き、飼育が好き、自然が好きな学生が集まって活動しています。週末にみんなでさまざまな場所(河川)に行き、そこに住んでいる生き物を探っています。活動を通して、私たちの身近にいる生き物について調査しています。また、その捕まえてきた生き物を自分たちでお世話をして学校で展示します。みんなに石川の生き物を知ってもらうことを活動の目的としています！

吹奏楽部じゃないよ！  
水槽学部だよ！

活動暦: 2016年設立

部員数: 23名

活動内容: 石川県内の河川で生き物の採取。

捕まえた生き物の餌やり、掃除など。



# ☑ 私たち、石川県教員採用試験に現役合格しました！

平成29年度石川県教員採用試験では、石川県立大学から5名（現役3名、卒業生2名）が合格を果たしました。

このうち、現役合格を決めた3人に、教員採用試験までの勉強法やこれから目指す教師像について語ってもらいました。



## △ 農業の教員になるなら、やっぱり石川！△

**石倉** 合格発表の時は、どんな気持ちだった？

**岩井** 授業の最中に発表があったので、気が気じゃなくて。スマホで結果を見て、自分の番号を確認した時は信じられなかったです。

**小津** 私は友達が発表を見ているのを横から覗いて、そしたら自分の番号もあって驚きました。

**江藤** ネットで見ただけでは信じられず、正式な書類で見るまでは安心できませんでした。

**石倉** この3人には石川県出身がいないんだよね。江藤さんは東京、小津さんは三重、岩井さんは富山ですが、先生になりたかったのはいつ頃から？どうして地元ではなく、石川で採用試験を受けようと思ったの？

**岩井** 小学生の頃から人に物事を教えることが好きで、先生になりたいと思っていました。富山県出身ですが、富山の公立高校は勉強熱心でも修学旅行などの行事がなかったりします。石川は学校行事にも力を入れているので、ここで採用試験を受けようと思いました。

**小津** 私は、高校の生物が好きだったので、大学に入学した時は理科の先生になりたいと思っていました。先生に相談すると、「農業の先生もいいよ」と言われて、農業科教員の資格も取ることにしました。石川で受験したのは、農業が盛んだから。大学で先生に相談しなければ、農業の先生を意識することはなかったです。

**江藤** 僕は農業高校出身で、生徒として3年間学び、野菜を育てる楽しさや収穫する喜びを知ってこの大学に入りました。その経験を次の世代に

伝えていける人になりたいと思ったのが、教員を志した理由です。農業科教員になるなら、東京よりも自然が豊かな石川の方がより幅広く農業を教えることができると考えて、石川県の試験を受けました。

## △ 強い意志と仲間の存在が合格への鍵！？△

**石倉** これで今年の石川県の農業科教員の採用者はうれしいことに全員が県立大の卒業生だったのですが、何が合格に結びついたのだと思う？

**岩井** 僕の場合は、なんとしても一発で受かろうという強い気持ち。教員採用試験はなかなか受からないと聞いていましたが、最初から合格は無理と思って勉強していると、2年目でいい、3年目でいいと思ってしまうので。

**小津** 石川はICTを活用した授業に力を入れているのでスライドを使った授業の練習で対策しました。そういうことを意識して模擬授業で練習したのが良かったのかも。

**江藤** 僕は仲間の存在が大きかったです。教職の仲間みんなと一緒に合格したいと思って切磋琢磨できたのが良かった。目的が同じ仲間で励まし合って勉強し、それが心の支えになり、不安を共有できたのも大きかったです。

**石倉** 教育実習の前後あたりから、みなさんの結束が強くなりましたね。

**澤田** みんな、自分さえ良ければいいという気持ちがなく、誰もが友達のしていることをちゃんと見ようとする雰囲気がありました。しんどい時に助け合える存在がいないとなかなか1人で頑張ることなんてできない。

## Close Up 第14回 韶緑祭 H29.10.23~10.24



話題沸騰中のアーティストたちが出演！  
今年も盛り上りました！

石川発イケメンダンス＆ヴォーカルユニット“G.U.M”と、2016年にメジャーデビューを果たし今話題沸騰中の“Shout it out”、2組のアーティストをお呼びしました。台風の影響により屋内ステージでのLIVEとなりましたが県立大学生に加えて外部からの来場者も多く、例年に劣らぬ盛り上がりをみせました！！



**石倉** 誰かを蹴落としてでも受けりたいって思っている人は、試験の時にもそういう空気が出ると思います。しかし、試験官と一緒に働く人には他の人のことを気遣ってくれる人がいいと思うでしょう。みんなで助け合って合格したいという気持ちや人柄が試験にも反映されたのでは。

## 面接練習と模擬授業は、数と質で力をつけるべし

**石倉** 大学4年間で、どのように成長したと思いますか。教職をとっていると卒業単位にならない授業も多くて大変だったと思いますが。

**岩井** 教職の授業で、互いに意見を言い合う場面があって、そこで結束力を強くし、自分のレベルを上げることもできたと思います。あの授業があったおかげで成長することができました。

**石倉** 教育実習事前指導ですね。確かに、あの授業をする前と後ではスピーチの仕方などが全然違いますよね。

**小津** たくさんの人の前で発表したり、自分で考える訓練をしたり、先生になるために必要なスキルをつけられたと思います。

**江藤** 教職の授業では、対話力が鍛えられ、一つの目標に向かってみんなで取り組むものも良かった。教師を目指さない人も、教職の授業を受けるとディベートを経験できるので、対話力が鍛えられるのではないかと思います。

**澤田** 授業を通して、さまざまな刺激を受けてきたのではないかと思いますが、特に印象に残っていることはありますか。

**江藤** 模擬授業ですね。わかりやすい授業をすることが正解だから、そこにはどうすれば良いのかと手探りでした。みんなの工夫点が多種多様だったので記憶に残っています。

**澤田** みんなの引き出しが広くなったよね。「学生同士でコメントしあうなんて意味ない」という考えもありますが、いろいろな人のやり方を見ていると、自然と自分の引き出しが増えていく。一つのやり方しか受け入れないという姿勢ではなく、実際に現場に入るといろいろな考えをもった先生がいるからね。

**石倉** 柔軟な思考力は、社会人や先生に必要ですからね。では、これから教員をめざす学生にアドバイスを。

**岩井** 教員採用試験は個人戦のようで団体戦。模擬授業や面接練習は1人ではできないので、仲間を見つけて練習することが大事。筆記の勉強も一人でするよりも何人かでしたほうが、モチベーションが上がります。

**小津** 縦と横のつながりが大事だと思います。横は仲間との関係で、問題を出し合ったり、模擬授業の練習でビデオを撮り合ったり、意見を言い合ったり…。縦は先生との関係。勉強は大変だったけれど楽しくもありました。

**江藤** 面接と模擬授業の練習は、どれだけ練習してもやりすぎということはないので、したほうがいいです。

## なりたい教師像って、どんな感じ？

**石倉** これからどのような先生をめざしていきますか？

**岩井** いい意味で生徒と距離が近い先生。勉強以外の助言もでき、生徒に慕われる先生になりたいです。

**小津** 農業高校はいろいろな家庭事情を抱えている生徒がいるので、そういった子たちの事情を理解し、社会に出るための基礎的なことも教えられる先生になりたいです。

**江藤** 生徒が気軽に声をかけやすい先生になりたいです。悩み事にも親身に相談にのってくれそうと思われる先生をめざします。

**澤田** 生徒と一緒に学びあえる教師、学校って楽しいなって思ってもらえる先生になってほしいですね。

**石倉** オリジナリティのある先生には魅力があると思います。自分の科目をマニアックに追求して、面白い先生だよねって思われると、憧れられると思いますよ。



私も合格しました！

### 教員になりたいという強い意思を持って頑張ってください

久米 づばさん 石川県立翠星高等学校勤務

教員とは生徒に教え、教えられることで共に成長できる素晴らしい職業だと思います。険しい道のりではありますが、教員になりたいという強い意思を持って頑張ってください。来年度から初任者研修が始まり忙しくなると思いますが、講師として働いた経験を生かして、より良い授業づくりや生徒指導が行えるように頑張りたいと思います。



私も合格しました！

### 生徒の眼がキラキラするような授業を目標に頑張ります

中川 涼花さん 石川県立小松明峰高等学校勤務

教職は、子ども達からエネルギーを貰える素敵なお仕事だと感じています。辛いこと嫌なことも、子ども達の顔を見ると吹っ飛びます。採用試験は辛いと思いますが、応援しています！来年度は、「生徒の眼がキラキラするような授業！」を目標に、理科の楽しさ、生き物のスゴさを少しでも感じてもらえるような授業を作っていくたいです。



### 初めての試み、仮装企画でよりにぎやかな響緑祭に！

メインテーマの“ハロウィン”に因み、実行委員会や模擬店出店者など多くの参加者が個性豊かな仮装をしました。初の試みではありましたが、装飾も含めてにぎやかなハロウィンムードを演出することができ大成功でした。



### 悪天候もなんのその！毎年大好評の野菜販売！

毎年恒例の野菜販売！悪天候の中多くの方々に県立大学産の野菜をお届けすることができました。市場にも出荷している品質の保証された野菜を破格でお楽しみ頂ける、好評企画です！





# What's Shigenken

...



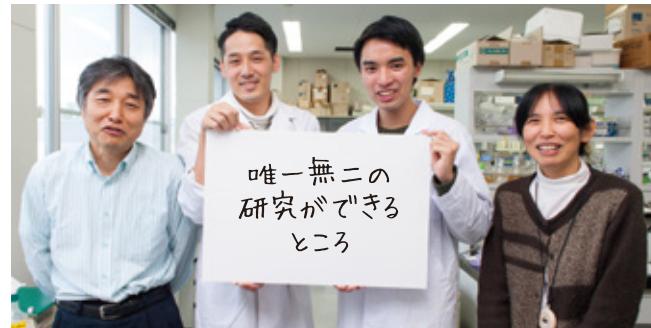
## #「資源研」ってナニ?

生物資源工学研究所の略称。その名の通り、生物資源を利用して社会に役立つ製品や技術を開発していくことを目的とする石川県立大学の研究所です。生産科学科・環境科学科・食品科学科の3学科と連携しながら、地域の発展を支える研究の拠点として機能しています。なかには、地球規模の問題を解決へ導く研究も。研究機関や地元企業と連携した新産業の創出も積極的に進めています。



## 植物遺伝子機能学研究室のイイところは?

多様な植物遺伝子の機能を解析し先端バイオテクノロジーに生かす

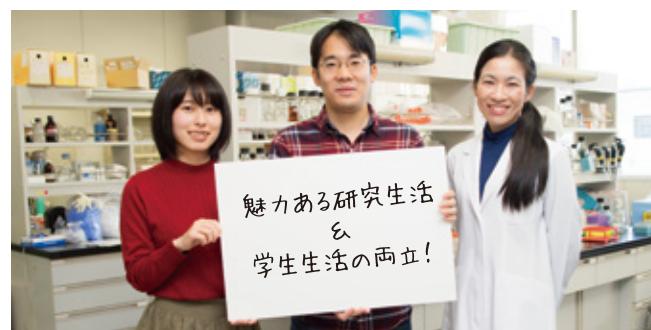


植物の遺伝子機能を利用して、貴重な天然化合物や植物タンパク質を効率的に植物に作らせる先端バイオテクノロジー研究を行っています。私たち人間の健康と暮らしに貢献する新技術や新素材の開発をリードする研究室です。



## 応用微生物学研究室のイイところは?

微生物が有する可能性を追究し、健康と食の安全を考えた食品を開発



## 環境生物学研究室のイイところは?

水質・土壤・大気の浄化に向けて微生物を有効利用する技術を研究



## DNA利用技術教育センターのイイところは?

ゲノムDNAがもつ無限の情報と可能性の利用に取り組む



ほくら

わたしら

OB・OGの 現在地

# ココでがんばっとるわいね!



## 印刷物を中心に 知識、提案力を日々勉強中

平成26年度 食品科学科卒業生  
ヨシダ印刷株式会社  
西 美名子さん

印刷会社で複数の得意先を担当し、印刷物を中心に日々お客様と打ち合わせや校正のやりとりをしています。業界問わずお取引しているので、様々な会社を知ることができます。母校である県立大学も担当させていただいており、印刷物やノベルティ等作らさせていただけています。食品系の会社のお客様とは大学時代の話題を絡めて話をすることもあるので、研究や企画とは違う業界でも母校と関わることができています。印刷物だけでなくグループ会社の商材も販売するため、システム商品や包装資材についても営業をしています。取扱う商材が多い分、知識と提案力も必要とされるので今後も勉強を重ねていきたいと思います。



## 大学時代の経験も活かしながら 生徒に理科の楽しさを伝える

平成25年度 環境科学科卒業  
石川県立金沢伏見高等学校 理科教諭  
小谷 拓太郎さん

現在、高校で教員として文系対象に生物基礎や、全生徒が履修する化学基礎、そしてたまに理系対象に生物を教えています。実は大学時代の半ばまで、教職に就くか技術職に就くか定まっておらず、教師になるための勉強に精を出した記憶はありませんでした。むしろ海や山に行って遊んだり昆虫採集をしたり大学の実験・実習等を楽しんだ記憶が強く残っています。当然、教員採用試験では苦い思い出が多々ありました。しかし、大学時代に学ぶ高校を超えた授業や、遊びも含めた様々な経験をうまく取り込めた授業は、毎回手応えを感じています。大学時代に培った土台を生かして、生徒に理科の楽しさを伝えられるようこれからも頑張ります。



## 共に学ぶ。新任教員の紹介

生産科学科 動物管理学研究室

**浅野 桂吾** 助教

出身地  
石川県  
趣味  
釣り、登山  
尊敬する人物  
研究に携わるすべての方々  
最近はまっていること  
釣った魚で干物をつくること



### ストレスの緩和や免疫機能を亢進する家畜飼育技術の開発

家畜から肉や乳を生産するためには、飼育中のストレスを減らし、健全な免疫機能を維持してあげる必要があります。そのため、飼育環境のどこにどんなストレスがあり、免疫機能にどのような影響があるか調べることは、家畜の飼育技術の改善につながります。私は、それらを調査し、飼育環境からストレスを取り除く方法や、飼料などによって免疫機能を向上する方法を研究しています。

生産科学科 生物資源管理系(農業経営学研究室)

**金成 塚**(KIM, Sunggak) 教授

出身地  
韓国(海南郡)  
趣味  
山登り  
最近はまっていること  
石川県めぐり



### グローバルな環境変化の中での 地域農業と農業経営のあり方を模索する

日本農業・食料問題に影響を与える海外の農業および農業政策の現状とWTO、EPAなどの農業政策の国際的枠組、さらに開発途上国の農業・経済問題を主要研究テーマとしてきました。今後は、これらの研究成果を踏まえて地域農業・農業経営のあり方を模索していきたいと思います。

生産科学科 生物資源経済学研究室

**住本 雅洋** 助教

出身地  
兵庫県  
趣味  
特にありません  
尊敬する人物  
両親  
最近はまっていること  
朝・晩の自炊(昼は食堂へ!)



### 消費者需要と農業政策と 地域農業の維持・振興

戦後、日本人の食生活は大きく変化してきました。とくに最近では外食や調理済み食品への依存度が高くなり、家庭で調理して食べる食事の機会が減ってきています。その一方で、この20年ほど、地域農業の主要品目であるコメの価格は下落傾向にあります。こうした状況の中で、地域農業を維持・振興するための条件や方策について検討していきたいと考えています。



石川県公立大学法人  
**石川県立大学**  
Ishikawa Prefectural University

石川県立大学広報委員会

〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地

Tel 076-227-7220 Fax 076-227-7410

E-mail jimu@ishikawa-pu.ac.jp

http://www.ishikawa-pu.ac.jp/

最新情報は  
ホームページから

今後のよりよい広報誌づくりのため皆様のご意見をお聞かせください。

アンケートにお答えいただいた皆様の中から抽選で  
「notono フローズンヨーグルト(3個)セット」を  
3名様にプレゼントいたします。

※アンケートは石川県立大学Webサイトにあるフォームからご回答ください。  
締切:2018年2月19日(月) ※当選は賞品の発送をもってかえさせて頂きます。



地元の「なれずし」乳酸菌が  
入ったフローズンヨーグルト!  
お腹にも優しいさわやかな  
味わいで。